

「我がまちの達人」決定

豊川商議所 あす創立60周年記念式典で顕彰

豊川商工会議所（鈴木一進会頭）が、創立60周年を記念し、今年度から創設した「我がまちの達人」の初回受賞者に野球用バット、スポーツ用品を製造する鈴木隆三さん（54）と、表具業の村川松久さん（62）が選ばれた。2人は6日、市文化会館で開催される同商議所60周年式典で顕彰される。

鈴木さんは白窓に勤め、82（昭和57）年からプロ野球選手が使用する木製バットの製造に取り組んできた。阪神の今岡選手をはじめ多くの選手に確かな技術に裏づけされたバットを提供し続けている。

スポーツ用品製造

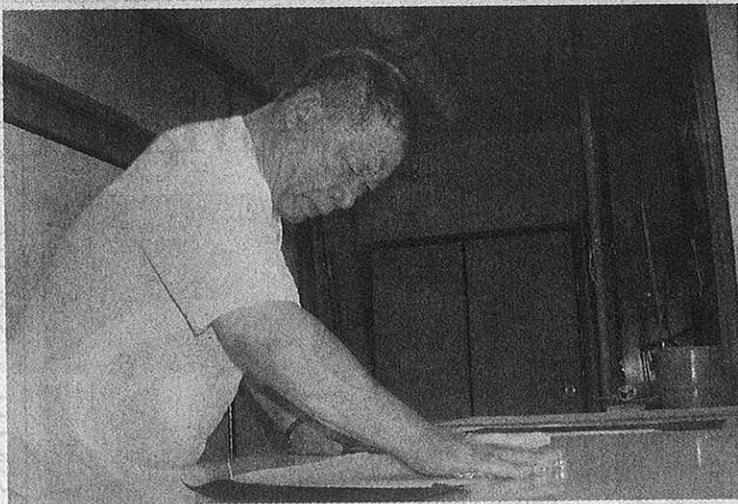
鈴木さんと

表具業

村川さんに

コンピュータが主流となりつつあるバット製造分野だが、手作りによる微妙な感覚が選手に大きな信頼感となっている。また「鈴木切削塾」を主宰しており、若手社

員の育成にも情熱を注ぐ。村川さんは64（昭和39）年から掛け軸やふすまなどを仕立てる表具業を営み、91（平成3）年には一級技能士全国技能競技大会で5位入賞、さらには「あいちの名工」としても顕彰されている。86（昭和61）年からは県内の表具業者で運営する工芸大学訓練校で指導員を務め、全国競技大会で上位に入る優秀な表具技術者を何人も育てている。



栄えある初回「我がまちの達人」に選ばれた鈴木さん①と村川さん